

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ **学校力向上プラン**【学校評価計画書】

堺市立若松台小学校
校長 藤木 敦史

中学校区におけるめざす子ども像
自己を高めようと努力し、自ら学び続ける子 ～教科教育・総合の学習の時間の中で「探究」と「対話」する活動を通して～

令和7年度 重点目標
**「読解力」を向上させ、対話できる子どもの育成
～相手のことを考え、自分の考えを伝える活動を通して～
「聞き合う」「話し合う」「考え合う」「つながり合う」**

「確かな学び」の現状 各種調査の結果より、国語科においては、読書が好きという児童の割合が市平均と比べても増えているが、学習場面での「読むこと」に関する関心が低く、要約する、資料を結び付けて考えるなどに課題がある。また算数においては、問題の解き方や考え方をわかるようにノートに書いている児童が多いが、資料の読み取りに課題を感じている児童が一定数いる。児童用端末を使っでの学習活動は定着してきている。朝学習などで基礎学力定着に向け取組を充実させるとともに、国語科においては、「読解力の育成」に取り組み、資料を用いた説明文の読み取りやノート指導に力を入れる。向上した「読解力」を活用し、相手のことを考え、自分の考えを伝える「対話」ができる子どもたちの育成をめざします。	「豊かな心・健やかな体」の現状 アンケート調査より、学習や対人関係に起因した不登校傾向にある児童が増えてきている。児童と関わる時間を確保したり、学習においてのペア交流やグループ交流を取り入れる設定や異学年・同学年での交流など他者を意識しつながる仲間づくりを意識した取組を進めていく。また、総合的な学習において自分たちの町を意識した取組を系統的に進めていることで、地域との関わりに関心をもつ児童の割合が増加傾向にあるため引き続き取り組んでいく。体を動かすことが好きな児童も多く、休み時間には運動場で元気に遊ぶ姿が多くみられる。道徳教育、国際理解教育を推進していくことを軸として、人とつながりを大切に、多様性を認めあい、人権が尊重されていることを実感できるよう、学校全体で人権教育に取り組む。
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)		達成状況（年度末）			
									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	学びの基礎 力の向上	基礎基本の学力を育成し、学ぶことを楽しみ、自ら学ぶ子どもの育成	●★児童の読解力の育成に努め、「主体的で対話的で深い学び」をし、授業改善に取り組む。朝学習や自主学習ノートを活用し家庭での学習習慣の定着を図る、さらに読書活動の充実に取り組む。	教科研修と年3回の研究授業、2年生以上自主学習ノートの活用 読書活動（朝読と図書貸出冊数、アンケート）の変化	ノートと貸出冊数・アンケート	年度末						
	総合的な学力向上	個別最適な学び、協働的な学びを追求し、総合的な学力を身に付けた子どもの育成	●★さまざまな授業の中で学びのコンパスなど探究的な学びを推進し、総合的な学力の向上を進める。学校群内の学校との交流や地域学習等の総合的な学習に取り組む中で、「対話」のできる子どもの育成をめざす。 ★外国語、社会、理科、音楽等での高学年を中心に教科担任制を実施し、学校群4校や就学前施設と連携しつつ小中9年間を見通した系統的な指導を行う。	公開授業・学習発表の実施 アンケート肯定率や活用力の比較	学力調査・学校アンケート	年度末						
		ICTを活用した学習を進め、情報活用能力を向上させる	学習者用端末を教科、総合的な学習や家庭学習において活用し、情報モラル・情報活用能力を向上させる。また、学習者用端末を活用し、「探究する」授業づくりに取り組む。	自校教員、若松台中、上神谷小、教員による授業の実施と、共同授業研究や合同研修での連携	実施状況・アンケート	年度末						
				教職員研修の実施とアンケートの肯定率が80%以上	アンケートテスト等	年度末						
豊かな心・健やかな体	生活習慣の確立と 自尊感情の育成	さまざまな体験を通して、人とのつながりや思いを知り、自他ともに大切にすることを育てる	特別の教科道徳の授業を要とし、他の教科等との関連を図りながら道徳教育・人権教育の充実を図る。 ●いじめ事案の早期発見・早期解決に努め、組織的に対応し、人権教育、特別支援教育、集団づくり、なかよしタイム等の取組を通して、自他を大切にする心情を育てる	道徳の教科書や副読本の効果的な活用と公開授業の実施	アンケート	年度末						
		健康・安全に関する認識を高める。体力の向上を図る	食育・防災を含む安全教育を通して、健康で安全な生活ができる力を育てる。 行事や屋外での遊び等を通して、体を動かすことの楽しさを体感させ、体育授業に積極的に取り組む児童を育む	研究授業の実施と人権にかかわるアンケート項目の肯定率が90%以上	アンケート 児童観察	年度末						
				健康や安全にかかわる取組状況。その関係のアンケートの肯定率	アンケート	年度末						
				「体育授業に積極的に取り組む」アンケート肯定率80%以上	アンケート調査結果	年度末						
独自の課題	豊かさに 違いを	ちがいを認め合い、互いに助け合う態度を育てる	外国にルーツにある児童を含めすべての児童が様々な国の文化や人々を理解し尊重する多文化共生の心情を育てる国際理解教育を推進する。	国際理解教育の取組の内容と回数、日本語指導の状況。	実践報告 公開授業	年度末						
	若松台学校群 として取り組む課題	若松台学校群として取り組み、児童と教職員がともに輝く学校に	●★学校群での取組を進め、カリキュラムマネジメントを充実させ、児童の「交流」を意識した教育活動や働き方改革に伴う授業時数の平準化、行事の精選を行い、効果的な教育活動を実践する。	実施状況とアンケート	取組の検証とアンケート	年度末						

校長より（年度末）	学校関係者評価者から（年度末）
-----------	-----------------